

コミュニケーション・オン・プログレス (COP)

COPの対象期間：2021/4/1 ～ 2022/3/31

1. 最高経営責任者による継続的支援の表明

ステークホルダーの皆様へ

私は、ここに株式会社ビジネスコンサルタントが国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境、および腐敗防止に関する10原則を支持することを再度表明します。

当社はSDGsと国連グローバル・コンパクトおよびその原則を、事業戦略や企業文化、日常業務により一層浸透させるべく継続した取り組みを行ってまいりました。この年次のコミュニケーション・オン・プログレスにおいて、その取り組みについてご報告いたします。また、当社の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当社の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様にご紹介してまいります。

代表取締役社長執行役員 大村 昌平

2. 取り組み状況

◎包括的な活動として、

- ・昨年度に続き、全社をあげて、お客様組織がサステイナブルな組織を構築するためのサポートと、社内でのサステナビリティ推進の取り組みを進めた。
- ・2021年度は、新たに20代30代の若手社員を主軸とした約50人(全社員の1/8)で2040年の社会の中でのサステイナブルな我社の在り方について、およそ1年にわたり将来を考えていく“New Frontier Project”に取り組んだ。2021年12月に報告会を実施し、新規事業の展開などに発展している。
- ・国際NGO The Natural Step Internationalの日本でのメンバー組織として自社におけるサステイナブルな実践を加速するため、Future-Fitのパイオニア企業となるためのFuture-Fit宣言を発出した（内容は以下）
 - 日本の組織が地球・社会・人により影響を与える仕事（Good Business）をして世界をリードしていく存在（Good People）になり、Future-Fitなビジネスや社会を実現することをクライアント、ビジネスパートナーと共に目指しています。
 - 現在は主に次の3つのことを探求しています。
 - 地球や社会のサステナビリティを守るため、さらには、回復させていくためには組織はどのようなことをしたらよいのか
 - サステイナブルな社会を実現するために、どのようにしたらビジネスにイノベーションを起こせるのか
 - 難しい課題にも挑戦できるよう、ひとりひとりが心身ともに充実して働ける組織やコミュニティ作りはどのようにしたらよいのか
- 以下の4つを重要な取り組み領域と定めた。
 1. 事業活動における廃棄物をゼロにします。
 2. 事業活動における温室効果ガスをゼロにします。
 3. 持続可能な責任ある（人権、環境に配慮した）調達に取り組みます。
 4. 働く人々、顧客、ビジネスパートナーなどValue Webに関わる人々のWell-beingを追求します。

- ・サステナビリティを企業経営に統合するためのツールFuture-Fitビジネス・ベンチマークを広めるためにGCNJのSDGs分科会にて今年もワークショップを開催した

人権

- ☆従業員に安全で適切、かつ衛生的な労働環境を提供する。

特筆施策；

- 秋葉原オフィス廃棄物把握（10/25～11/5）
- リサイクルプラント（大谷清運様）視察(12/28)→環境に移動

- ☆職場における嫌がらせ、例えば、肉体的、言語的、性的、心理的嫌がらせなどから従業員を守り、虐待や脅迫からも守る。

特筆施策；

- 従業員向け相談窓口を設置と周知の徹底を図った。
- 従業員のWell-beingに関する意識を把握し、向上を目指すため、「幸せ指標づくり」のプロトタイプを作成した。
- 倫理行動基準の見直しを図った。

労働

- ☆いかなる形においても、強制労働、債務労働を課さない。

- ☆最低賃金の水準を守る。

- ☆雇用関連の決定は、適切かつ客観的な基準をもとに行う。

これらの遵守に努めた。

特筆施策；

- コロナ禍の中での、基本は在宅勤務として、労働時間が超過しないよう管理に努めた。
- テレワーク拡大により変化した働き方に見合った規程の見直しを実施した。

環境

特筆施策；

- 継続して、本社に資源ステーションを設置し、リサイクルする資源、燃やす資源、燃やさない資源等に細かく分類の仕組みを構築している。

- 廃棄物ゼロの実現に向けた取り組み

- ①本社／秋葉原オフィスにおけるすべての廃棄物の内容把握（10/25～11/5）
- ②リサイクルプラント（大谷清運様）視察(12/28)

- BCPの一環として、地震や津波などの災害に備えるため、本社で50名分の3日間の食糧・水の備蓄を実施。

- 継続して研修資料で使用する紙をFSC認証のものを選択した

腐敗防止

- ☆社内におけるさまざまな手続きが、会社の腐敗防止のコミットメントに沿うものとなるようにする。

- 新規取引先との取引条件として、暴力団等反社会的勢力との取引がないかを確認している。

- サステナビリティの観点を踏まえた調達方針を策定してHP掲載して社内外に示した。

3. 結果の測定

- 女性社員の産休の取得、復職者は継続して増加傾向。男性社員が2名、長期の育休を取得した（営業職マネージャーによる長期の育休取得は弊社では初めて）。
- 資料・報告書のPDF化、紙の資料の適正数依頼の徹底、再利用の促進により、紙の使用量を減らせた。
- 昨年度より継続してコロナ禍の影響もあり、国内外の移動や車の走行距離、紙の資料の配送が減り、CO2 排出量が減少している。
- 2021 年の CO2 排出量はおよそ 1,319/tCO2（環境省排出原単位 DB 排出係数より算出）

◎SDGsとの社内での主な取り組みとの相関表

No	取り組み内容	SGDs の関連するゴール
1	健康経営の推進（健康診断の 100%受診他）	3
2	運動不足解消策として全社員対象でウォークラリーの実施と表彰	3
3	外部相談窓口を設置することでメンタル面のフォロー体制の確立	3
4	Well-being に関するプログラムを社員向けに実施	3, 4
5	Well-being に関するプログラムを開発し、お客様へ提供	3, 4, 8
6	“New Frontier Project”の展開	4, 5, 8, 17
7	サステナビリティのノウハウを先進事例に学び、顧客に届けている *Future-Fit ビジネス・ベンチマークを取り入れた公開講座（GBP）の実施	4, 8
8	社員への様々な学びの機会の提供（リモートワークショップ、e ラーニング他）	4, 8
9	ライセンス、Biz-Ex、UMU など非稼働商材の拡充と拡販	4, 13
10	オウンドメディア（GoodBusinessGoodPeople）でサステナビリティに関する情報を発信している	4, 10, 17
11	男性・女性への育休取得の推奨	5
12	お客様用プラファイルの全面廃止	12
13	公開講座内でのペットボトル使用を廃止	12
14	お客様用バックをエコマーク基準を満たした布製に変更	12
15	資源ステーションの設置によるゴミの分別	12

16	本社、ペットボトル利用削減のためにウォーターサーバーの導入	1 2
17	段ボール使用を減らすため、運送に再利用可能なプラケースを利用	1 2, 1 5
18	研修資料に FSC 認証紙を使用、環境に配慮したベジタブルインキを利用	1 2, 1 5
19	社内業務とお客様へのプログラム提供で ZOOM 等の Web アプリの活用	1 3
20	サステイナブルフードの積極的利用	1 3, 1 4
21	社外のサステナビリティに関する団体(GCNJ,JCLP 等)との積極的な交流	1 7
22	Future-Fit の認定パートナーとして自社でも実践を重ねるため、Future-Fit 宣言を発出	1 7

以上

